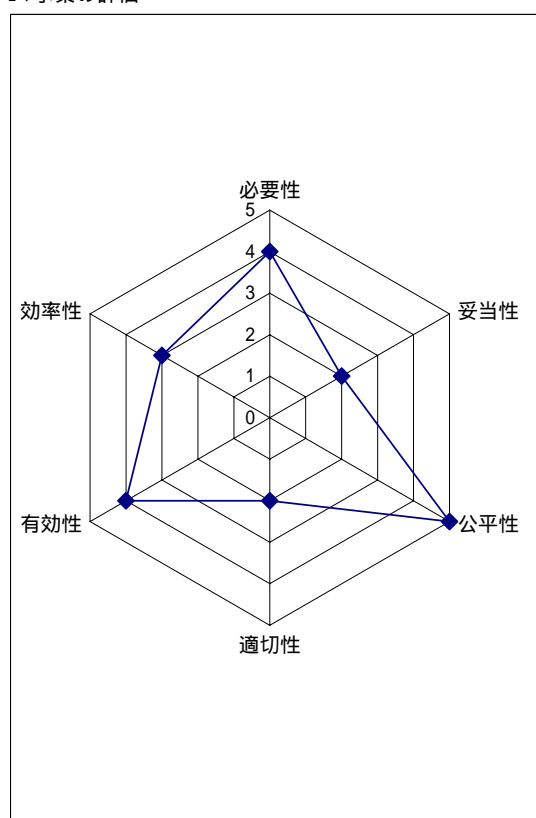


事務事業名	市民まつりNOPPE開催事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	豊かなふれあいとにぎわいのある商業・観光の振興	担当係名	観光係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	市民による手作りのまつり(市民参加型イベント)として開催し、まつりを通じて市民一人ひとりが地域とのつながりを再確認するとともに三世代間のふれあいと対話、協調する心を育むことを目的とする。		
事業の期間(開始/終了)	昭和61年 4月/ 年 月		
根拠法令、条例、規則など	市民まつり開催事業補助金交付要項		
事業が対象としている人(モノ)	市民		
具体的な活動内容	NOPPE実行委員会会議の開催、運営等に係る事務		
	NOPPE実行委員会会計事務及び庶務		
	NOPPE開催に係る全般的な業務		
	市民参加型祭事実施のための啓発等		
事業の成果	入り込み者数		
	実行委員会主導の実施		
	市民団体の参加		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い
	20年前から始まり、市民のイベントとして定着している。
妥当性	2 民間等でも実施できる(実施している)事業である
	市民主導で実施・運営できるイベントであることが理想であるが、現段階ではイベント開催のノウハウや意識が無いため行政の手助けが必要となっている。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない
	各世代の市民に楽しんでもらえるように内容を考えており、また出演、出展者を公募して機会の公平を図っている。
適切性	2 現在のやり方(手段)には、やや問題がある
	イベント実施における手段は適切である。ただし、実行委員会の運営において行政の手助けが必要のため改善が必要である。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	多くの市民の参加があり、また入り込み者数も目標値に達していることから目標水準に達している。
効率性	3 どちらとも言えない
	出演者の公募により、謝金の削減を行った。人員については、イベントという特殊な事業であるため効率化を図る余地がない。

総合評価	市民参加のイベントとして定着しており、今後も継続して実施すべき事業である。 市民主導の運営に移行する必要がある。 隔年開催になり、実施主体は観光協会に移管された。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	統合	中長期的方向	統合
	説明	平成18年度より結城市観光協会補助事業に統合し、イベント実施主体を観光事業として実施する。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	まつりのあり方については、市民からも議論のあるところであり、住民主導の祭りとして継続的な活力の高揚につなげる。			